

報 告 書

件 名 : 材 料 試 験

R C - 4 0

令 和 8 年 5 月

合 同 砕 石 株 式 会 社

材 料 試 験  
RC-40

試 験 報 告 書

令和 8年 5月

有限会社 コーポレーション



## § 1 . ま え が き

本報告書は、京都府福知山市大江町千原地内に所在する  
“合同砕石株式会社”において製造されるRC-40（再生クラッシュラン）の試験結果を報告するものである。

## § 2 . 試 験 概 要

工 事 名 称 :

工 事 場 所 :

試 験 期 間 : 令和 8年 4月17日～令和 8年 5月18日

生 産 地 : 京都府福知山市大江町千原地内

生 産 会 社 : 合 同 砕 石 株 式 会 社  
TEL 0773-56-0465

生 産 材 料 : RC-40（再生クラッシュラン）

試 験 会 社 : 有 限 会 社 コーワプランニング  
TEL 0773-40-1805  
田中 邦明



## § 3 . 試 験 方 法

日本産業規格（JIS）、舗装調査・試験法便覧等の試験方法に準ずる。

#### § 4 . 試験項目

再生路盤材における必要試験及び規格値を下記に示す。

##### 必要試験（R C , R M）

材料の承諾項目	試 験
① 使用材料の種類	再 生 材
② 粒度	フルイ分け試験
③ 修正C B R	修正C B R 試験
④ 最大乾燥密度	突固め試験
⑤ P I	液性・塑性限界試験
⑥ すり減り減量 (※ セメントコンクリート再生骨材)	ロサンゼルス試験

※ ( ) 内の材料のみ試験を行う。

##### 規 格 値

項 目	規 格 値	
	R C	R M
修正C B R	20% 以上 (30% 以上)	80% 以上 (90% 以上)
P I	6 以下	4 以下
備 考	A S コンクリート再生骨材を含む場合、( )内は上層路盤と厚さ数値より小さいに適用する。北海道地方、20cm、東北地方、30cm、その他の地域、40cm 尚、40℃でC B R 試験を行う場合は通常値を満足すればよい	
	( )内はA S コンクリート再生骨材を含む場合。但し40℃でC B R 試験を行った場合は80以上とする	

##### 参考文献

社団法人 日本道路協会

「舗装再生便覧」(平成22年版)

平成22年11月30日 22年版

試 験 結 果 一 覧 表

試 験 項 目	試 験 結 果		規 格 値
材 料 名	再生クラッシュラン R C - 4 0		————
フルイ分け試験 (JIS A 1102)	別 紙 参 照		粒径加積曲線図に示す
単位容積質量試験 (JIS A 1104)	1.35 kg / ℓ 実 積 率 : 74.9 %		————
密 度 試 験 (JIS A 1110)	表乾密度	2.08 g / cm <sup>3</sup>	————
	見掛密度	2.49 g / cm <sup>3</sup>	
	絶乾密度	1.80 g / cm <sup>3</sup>	
吸 水 率 試 験 (JIS A 1110)	15.39 %		————
スリヘリ試験 (JIS A 1121)	39.2 %		再生骨材 50%以下
液性 ) 限界試験 塑性 ) (JIS A 1205)	液性限界	N P	簡易舗装9以下 アスファルト舗装6以下 (塑性指数)
	塑性限界	N P	
	塑性指数	N P	
突固めによる 締固め試験 (JIS A 1210)	最大乾燥密度	1.522 g / cm <sup>3</sup>	————
	最適含水比	20.1 %	
修正 C B R 試験 (JIS A 1211)	17 回	47.9	20以上 (30以上) ※20%以上30%未満 (30%以上40%未満) (等値換算係数0.20) 30%以上(40%以上) (等値換算係数0.25)
	42 回	107.0	
	92 回	219.9	

[注] アスファルトコンクリート再生骨材を含む路盤材料で、  
温度の影響に対する措置が必要な箇所には、修正 C B R の  
基準値に ( ) 内の数値を適用する。

産 地 : 京都府福知山市大江町千原地内

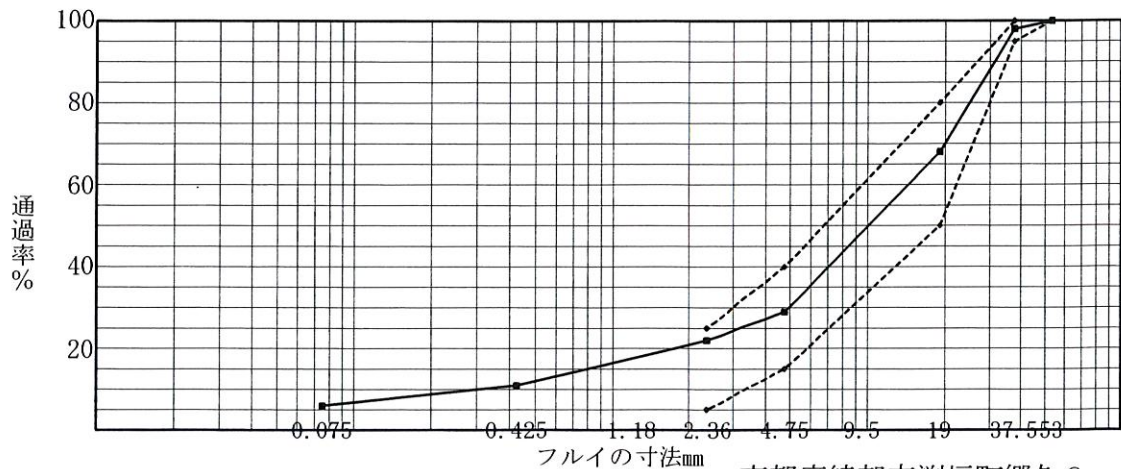
合 同 砕 石 株 式 会 社

# 骨材試験結果報告書

依頼業者名 : 合同砕石 株式会社			
材 料 : RC-40			
採取場所 : 京都府福知山市大江町千原小字江口地内			
産 地 : 同上			
試験期間 : 令和8年4月17日 ~ 令和8年5月18日			
試 験 項 目	試 験 方 法	試 験 結 果	
ふるい分け 粗粒率	JIS A 1102	-	
単位容積質量	kg/ℓ	1.35	
	実積率 %	JIS A 1104	74.9
密 度	表乾 g/cm <sup>3</sup>	2.08	
	見掛け g/cm <sup>3</sup>	JIS A 1110	2.49
	絶乾 g/cm <sup>3</sup>	1.80	
吸 水 率	%	JIS A 1110	15.39
すりへり減量	%	JIS A 1121	39.2
	液性限界 %	NP	
コンシステンシー	塑性限界 %	JIS A 1205	NP
	塑性指数	NP	
	最大乾燥密度 g/cm <sup>3</sup>	1.522	
突 き 固 め	最適含水比 %	JIS A 1210	20.1
	突き固め 17回	47.9	
修正 CBR 試験	回数 42回	107.0	
	(%) 92回	JIS A 1211	219.9
	ρ <sub>dmax</sub> 95%に対するCBR値 %	119.4	

ふるい分け

ふるいの寸法	53	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	0.425	0.075
通過量(%)	100	98	93	84	68	54	45	29	22	17	11	6



京都府綾部市湊垣町郷久9-2  
 有限会社 コーワプランニング  
 TEL : 0773 (40) 1805  
 FAX : 0773 (40) 1804

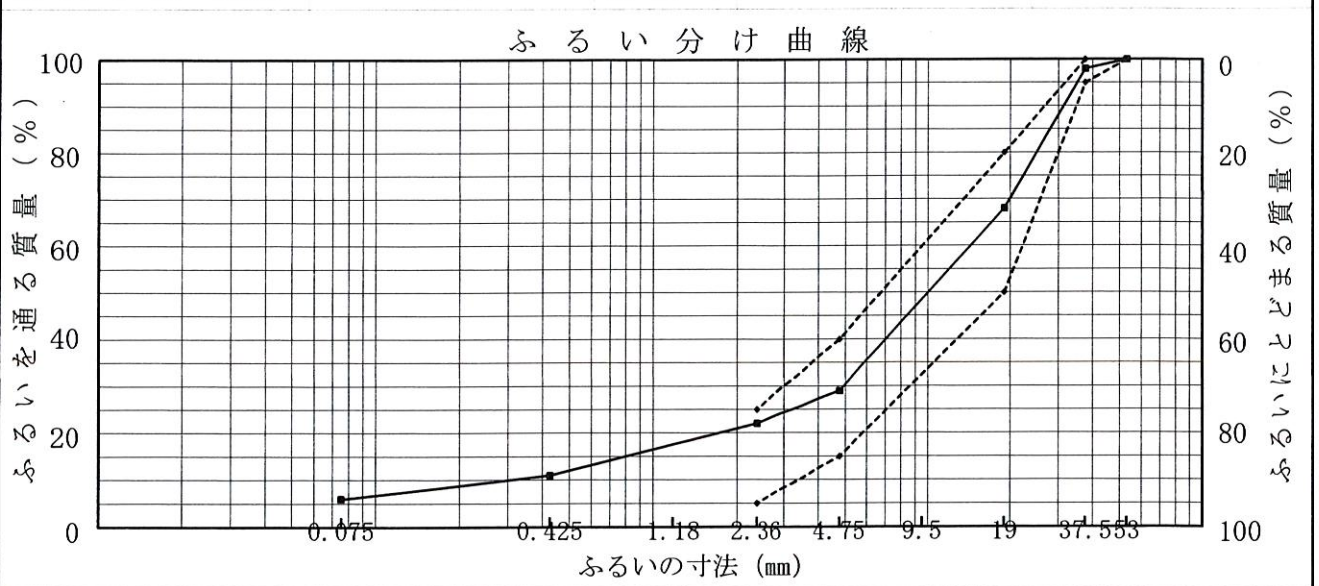
実験名 骨材のふるい分け試験 JIS A 1102

試験日 令和8年4月21日 火曜日 天候 晴れ

試験日の状態 室温 (°C) 20 湿度 (%) 40

試料 RC-40

ふるいの寸法 (mm)	各ふるいにとどまる量の累計	各ふるいにとどまる量	ふるいを通る量	C-40の粒径範囲			
公称目開き	呼び寸法	(g)	(%)	(g)	(%)	(%)	
53	50	0.0	0	0.0	0	100	100
37.5	40	136.2	2	136.2	2	98	95 ~ 100
31.5	30	508.1	7	371.9	5	93	
26.5	25	1,188.4	16	680.3	9	84	
19	20	2,548.5	32	1,360.1	16	68	50 ~ 80
13.2	13	3,602.6	46	1,054.1	14	54	
9.5	10	4,286.1	55	683.5	9	45	
4.75	5	5,517.6	71	1,231.5	16	29	15 ~ 40
2.36	2.5	6,083.1	78	565.5	7	22	5 ~ 25
1.18	1.2	6,469.7	83	386.6	5	17	
0.425	0.4	6,947.0	89	477.3	6	11	
0.075	0.075	7,329.9	94	382.9	5	6	
全質量		7,780.4					
最大寸法 (mm)		37.5		粗粒率		-	




考察


.....

.....

.....

.....

実験者 所属 有限会社 コーワプランニング  
 氏名 田中 邦明 

実験名	骨材の単位容積質量および実積率試験			JIS A 1104
試験日	令和8年4月27日月曜日			天候 曇のち晴れ
試験日の状態	室温 (°C)	湿度 (%)	水温 (°C)	
	22	48	18	
試料	RC-40			
試料の詰め方	棒突き試験 (30回3層突き固め)	容器容積	100容器	
測定番号	細骨材		粗骨材	
	1	2	1	2
① 容器の容積 (ℓ)			10	10
② 試料と容積との質量 (kg)			17.486	17.532
③ 容器質量 (kg)			4.072	4.072
④ 試料重量 ②-③ (kg)			13.414	13.460
⑥ 含水量測定のための試料の乾燥前の質量 (g)				
⑦ 含水量測定のための試料の乾燥後の質量 (g)				
⑧ 単位容量質量 $\frac{④}{①}$ または $\frac{④}{①} \times \frac{⑦}{⑥}$ (kg/ℓ)			1.34	1.35
⑨ 平均値からの差 (kg/ℓ)			0.01	
⑩ 平均値 (kg/ℓ)			1.35	
⑪ 表乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )			2.08	
⑫ 吸水率 (%)			15.39	
⑬ 実積率 $⑩ \times \frac{100 + ⑫}{⑪}$ (%)			74.9	
考察	平均値からの差は 0.01kg/ℓ 以下でなければならない。			
実験者	所属	有限会社 コーワプランニング		
	氏名	田中 邦明 		





調査件名

試験年月日 令和 8年 4月 29日

試験者 田中 邦明



試料番号（深さ） RC-40

液性限界試験

落下回数

容器 No.

含  $m_a$  g

水  $m_b$  g

比  $m_c$  g

$w$  %

落下回数

容器 No.

含  $m_a$  g

水  $m_b$  g

比  $m_c$  g

$w$  %

塑性限界試験 ヒモ状にならず試験不能

容器 No.

含  $m_a$  g

水  $m_b$  g

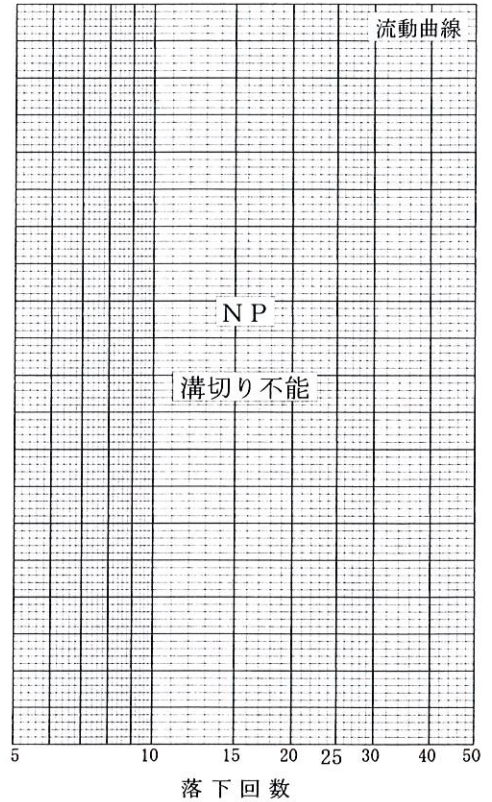
比  $m_c$  g

$w$  %

液性限界  $w_L$  %      塑性限界  $w_p$  %      塑性指数  $I_p$

NP                      NP                      NP

(%)  
w  
比  
水  
包



試料番号（深さ）

液性限界試験

落下回数

容器 No.

含  $m_a$  g

水  $m_b$  g

比  $m_c$  g

$w$  %

落下回数

容器 No.

含  $m_a$  g

水  $m_b$  g

比  $m_c$  g

$w$  %

塑性限界試験

容器 No.

含  $m_a$  g

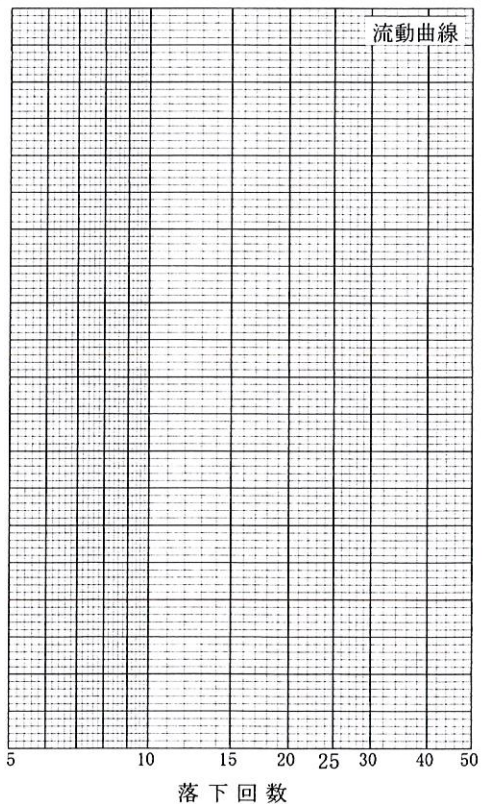
水  $m_b$  g

比  $m_c$  g

$w$  %

液性限界  $w_L$  %      塑性限界  $w_p$  %      塑性指数  $I_p$

(%)  
w  
比  
水  
包



特記事項

調査件名

試験年月日 令和 8年 4月 28日

試料番号（深さ）RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	E-b	土質名称	再生クラッシュラン			
試料の準備方法	乾燥法, <del>湿潤法</del>	ランマー質量 kg	4.5	モ	内径 cm	15
試料の使用法	<del>繰返し法</del> , 非繰返し法	落下高さ cm	45	ー	高さ <sup>1)</sup> cm	12.50
含水比	試料分取後 $w_0$ %	突固め回数 回/層	92	ル	容量 $V$ cm <sup>3</sup>	2209
	乾燥処理後 $w_1$ %	突固め層数 層	3	ド	質量 $m_1$ g	4753
測定 No.	1	2	3	4		
(試料+モールド) 質量 $m_2$ g	8207	8391	8621	8777		
湿潤密度 $\rho_i$ g/cm <sup>3</sup>	1.564	1.647	1.751	1.822		
平均含水比 $w$ %	13.3	15.7	17.9	19.8		
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.380	1.424	1.485	1.521		
容器 No.	23	41	43	51		
含水比	$m_a$ g	1258.1	1197.9	1214.4	1273.8	
	$m_b$ g	1132.0	1060.3	1058.9	1093.7	
	$m_c$ g	173.7	174.2	175.9	174.7	
	$w$ %	13.2	15.5	17.6	19.6	
容器 No.	18	35	38	62		
含水比	$m_a$ g	1294.3	1240.8	1193.5	1285.3	
	$m_b$ g	1161.8	1098.1	1037.0	1100.2	
	$m_c$ g	175.0	195.5	173.9	169.2	
	$w$ %	13.4	15.8	18.1	19.9	
測定 No.	5	6	7	8		
(試料+モールド) 質量 $m_2$ g	8800	8777				
湿潤密度 $\rho_i$ g/cm <sup>3</sup>	1.832	1.822				
平均含水比 $w$ %	22.3	25.2				
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.498	1.455				
容器 No.	44	5				
含水比	$m_a$ g	1180.7	1208.2			
	$m_b$ g	995.7	1002.3			
	$m_c$ g	174.4	175.4			
	$w$ %	22.5	24.9			
容器 No.	74	96				
含水比	$m_a$ g	1244.3	1231.7			
	$m_b$ g	1050.5	1016.2			
	$m_c$ g	174.3	169.0			
	$w$ %	22.1	25.4			

特記事項

$$\rho_d = \frac{\rho_i}{1 + w/100}$$

調査件名

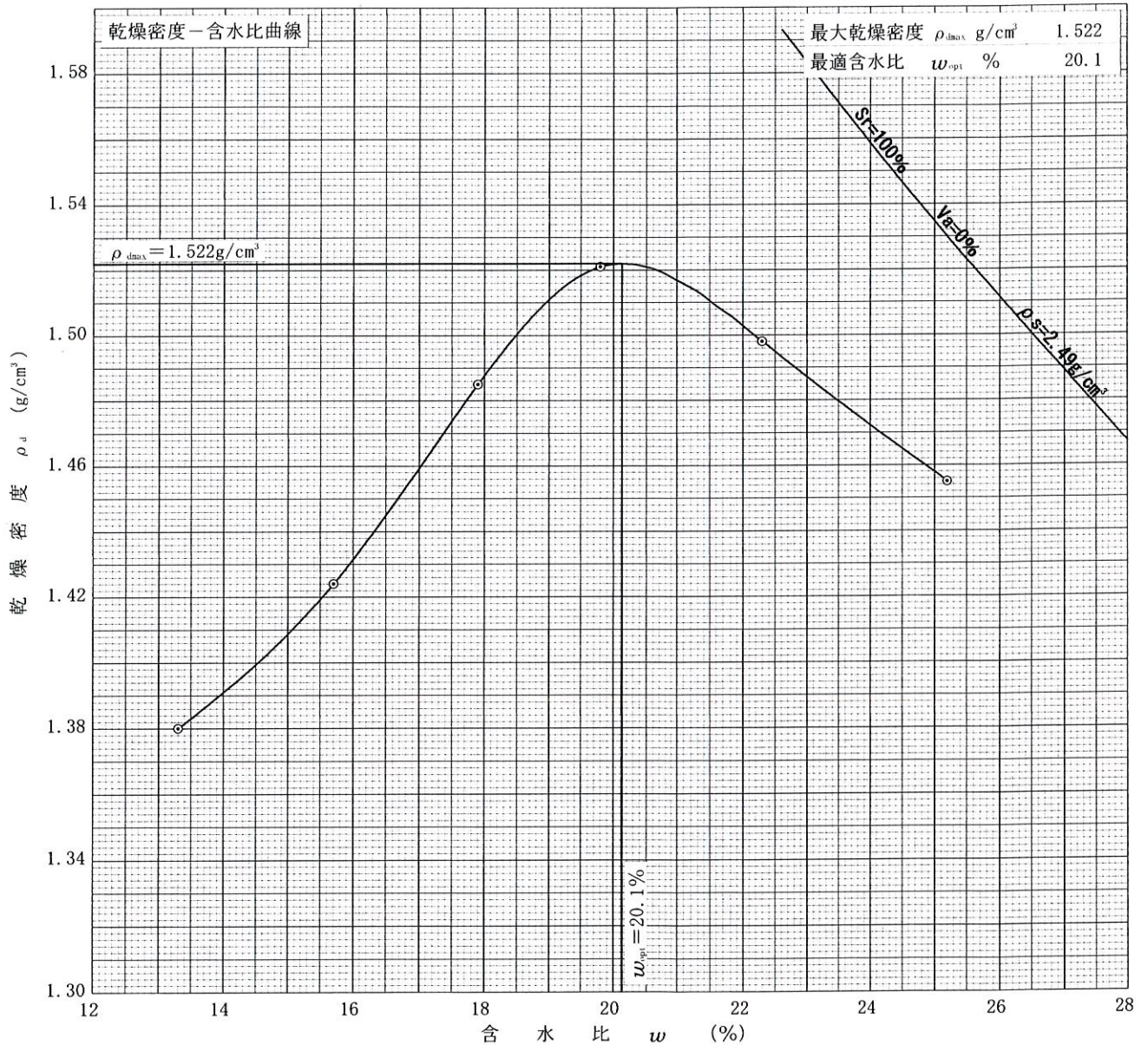
試験年月日 令和 8年 4月 28日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	E-b		土質名称	再生クラッシュラン				
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.49		
試料の使用方法	繰返し法, 非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調製前の最大粒径 mm	53		
含水比	試料分取後 $w_0$ %	-	突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15	
	乾燥処理後 $w_1$ %	7.8	突固め層数 層	3		高さ <sup>1)</sup> cm	12.50	
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 $w$ %	13.3	15.7	17.9	19.8	22.3	25.2		
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.380	1.424	1.485	1.521	1.498	1.455		



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスベ  
ーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{osat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 7日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱石、土ランマー質量	kg	4.5		土質名称	再生クラッシュラン						
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45		自然含水比 $w_n$	%	-				
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	17		最適含水比 $w_{opt}$	%	20.1			
	空気乾燥前含水比	%	-		突固め層数	層	3					
準備	試料調製後含水比 $w_o$	%	20.3		最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$	g/cm <sup>3</sup>	1.522					
			モールド	内径	cm	15		荷重板質量	kg	5.0		
				高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5		モールド容量 $V$	cm <sup>3</sup>	2209		
供試体 No.			1		2		3					
容器 No.			71		98		71		98			
含	$m_a$ g		1251.6		1261.1		1251.6		1261.1			
	$m_b$ g		1069.2		1076.5		1069.2		1076.5			
水	$m_c$ g		167.7		168.0		167.7		168.0			
	$w_i$ %		20.2		20.3		20.2		20.3			
平均値 $w_i$ %			20.3		20.3		20.3		20.3			
密	(試料+モールド) 質量 $m_2$ g		8404		8062		7544					
	モールド質量 $m_1$ g		4761		4432		3937					
度	湿潤密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		1.649		1.643		1.633					
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.371		1.366		1.357					
吸	水浸時間 h		時刻		変位計の読み		膨張量 mm		変位計の読み		膨張量 mm	
	0				0		0.000		0		0.000	
水	1											
	2											
膨	4											
	8											
張	24											
	48											
試	72											
	96				0		0.000		0		0.000	
験	(試料+モールド) 質量 $m_3$ g		8473		8129		7617					
	膨張比 $r_o$ %		0.000		0.000		0.000					
驗	湿潤密度 $\rho'_s$ g/cm <sup>3</sup>		1.680		1.674		1.666					
	乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.371		1.366		1.357					
平均含水比 $w'$ %			22.5		22.5		22.8					

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_o = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_s = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_o/100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_o/100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_s}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 11日

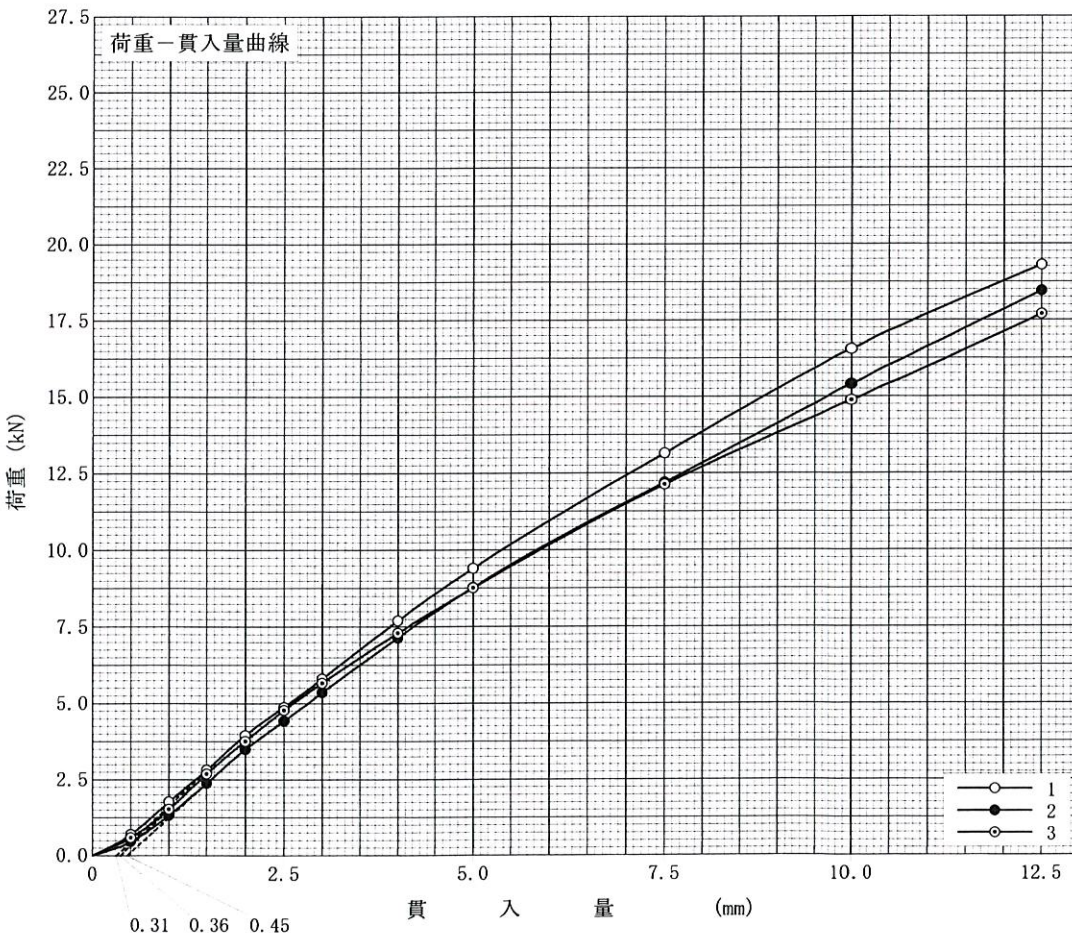
試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン	
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	-	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 $w_n$ %	-	
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	20.1	
養生条件	- 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.522
	4 日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5		

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	20.3	20.3	20.3
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.371	1.366	1.357
		膨張比 $r_e$ %	0.000	0.000	0.000
	後	平均含水比 $w'$ %	22.5	22.5	22.8
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.371	1.366	1.357
		試験後の含水比 $w_2$ %	21.2	21.3	21.5
貫入試験	貫入量2.5mmにおけるCBR%	40.6	39.2	40.5	
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	49.7	47.5	46.6	
	CBR %	49.7	47.5	46.6	
	平均 C B R %	47.9			



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m <sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm <sup>2</sup> ]		
[1kN ≒ 102kgf]		
貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	5.443	9.894
供試体 No.2	5.258	9.453
供試体 No.3	5.424	9.273
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 7日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン		
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	自然含水比 $w_0$	% -		
試料準備	準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	最適含水比 $w_{opt}$	% 20.1	
	空気乾燥前含水比	% -	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$	g/cm <sup>3</sup> 1.522	
試料準備	試料調製後含水比 $w_0$	% 20.3	モールド	内径	cm 15	荷重板質量	kg 5.0	
			高さ <sup>1)</sup>	cm 12.5	モールド容量 $V$	cm <sup>3</sup> 2209		
供試体 No.		1		2		3		
容器 No.		71 98		71 98		71 98		
含水	$m_a$	g	1251.6	1261.1	1251.6	1261.1	1251.6	1261.1
	$m_b$	g	1069.2	1076.5	1069.2	1076.5	1069.2	1076.5
比	$m_c$	g	167.7	168.0	167.7	168.0	167.7	168.0
	$w_1$	%	20.2	20.3	20.2	20.3	20.2	20.3
平均値 $w_1$		%	20.3		20.3		20.3	
密度	(試料+モールド) 質量 $m_2$	g	8556		8330		8588	
	モールド質量 $m_1$	g	4734		4538		4746	
度	湿潤密度 $\rho_i$	g/cm <sup>3</sup>	1.730		1.717		1.739	
	乾燥密度 $\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>	1.438		1.427		1.446	
吸水膨張	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		0	0.000	0	0.000	1	0.010
試験	(試料+モールド) 質量 $m_3$	g	8606		8384		8639	
膨張	比 $r_e$	%	0.000		0.000		0.008	
湿潤	密度 $\rho'_i$	g/cm <sup>3</sup>	1.753		1.741		1.762	
乾燥	密度 $\rho'_d$	g/cm <sup>3</sup>	1.438		1.427		1.446	
平均	含水比 $w'$	%	21.9		22.0		21.9	

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_i = \frac{m_3 - m_1}{V (1 + r_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_e / 100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_i}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 11日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン	
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	-	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 $w_n$ %	-	
試験条件	水浸, <del>非水浸</del>	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	20.1	
養生条件	- 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.522
	4 日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5		

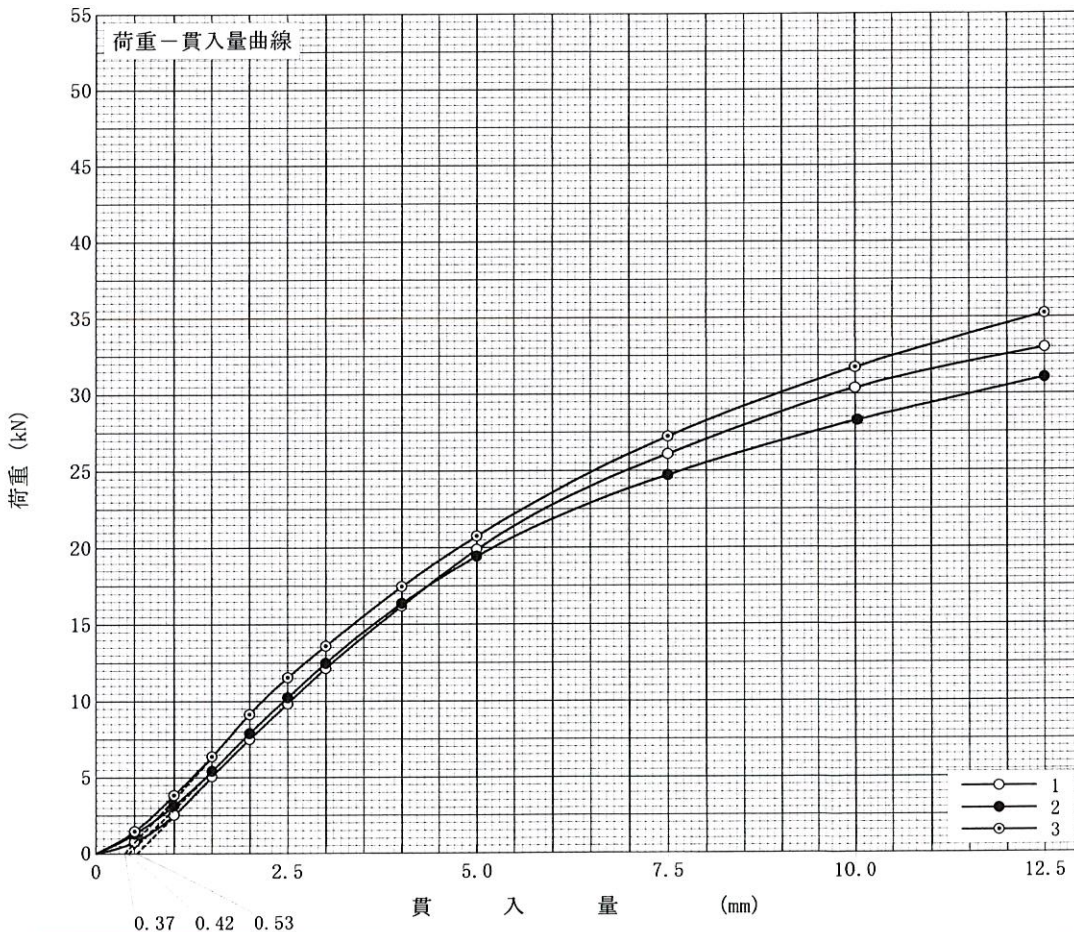
供試体 No.		1	2	3
吸水膨張試験	前			
	含水比 $w_1$ %	20.3	20.3	20.3
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.438	1.427	1.446
	膨張比 $r_e$ %	0.000	0.000	0.008
	後			
平均含水比 $w'$ %	21.9	22.0	21.9	
乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.438	1.427	1.446	
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %	21.0	21.1	21.9
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	91.5	90.5	97.5
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	108.1	103.1	109.7
	C B R %	108.1	103.1	109.7

平均 C B R %

107.0

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	12.266	21.519
供試体 No.2	12.122	20.516
供試体 No.3	13.071	21.832
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 7日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	自然含水比 $w_n$ %	-
試験準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	最適含水比 $w_{opt}$ %	20.1
空気乾燥前含水比 %	-	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.522
試料調製後含水比 $w_0$ %	20.3	モールド内径	cm	15	荷重板質量	kg
		モールド高さ	cm	12.5	モールド容量 $V$	cm <sup>3</sup>
						2209

供試体 No.			1		2		3	
容器 No.			71	98	71	98	71	98
含水比	$m_s$	g	1251.6	1261.1	1251.6	1261.1	1251.6	1261.1
	$m_w$	g	1069.2	1076.5	1069.2	1076.5	1069.2	1076.5
	$m$	g	167.7	168.0	167.7	168.0	167.7	168.0
	$w_1$	%	20.2	20.3	20.2	20.3	20.2	20.3
	平均値 $w_1$	%	20.3		20.3		20.3	
密度	(試料+モールド)質量 $m_2$	g	8791		8817		8870	
	モールド質量 $m_1$	g	4753		4768		4855	
	湿潤密度 $\rho_s$	g/cm <sup>3</sup>	1.828		1.833		1.818	
	乾燥密度 $\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>	1.520		1.524		1.511	
吸水膨張	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
72								
96		0	0.000	1	0.010	0	0.000	
試験	(試料+モールド)質量 $m_3$	g	8831		8856		8913	
	膨張比 $r_v$	%	0.000		0.008		0.000	
	湿潤密度 $\rho'_s$	g/cm <sup>3</sup>	1.846		1.850		1.837	
	乾燥密度 $\rho'_d$	g/cm <sup>3</sup>	1.520		1.524		1.511	
	平均含水比 $w'$	%	21.4		21.4		21.6	

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_v = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_s = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_v/100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_v/100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_s}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 11日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱さない主ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン
突固め方法	修正CBR 落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	-
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数 回/層	92	自然含水比 $w_n$ %	-
試験条件	水浸、非水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	20.1
養生条件	- 日空气中	モールド 内径 cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.522
	4 日水浸	高さ <sup>1)</sup> cm	12.5		

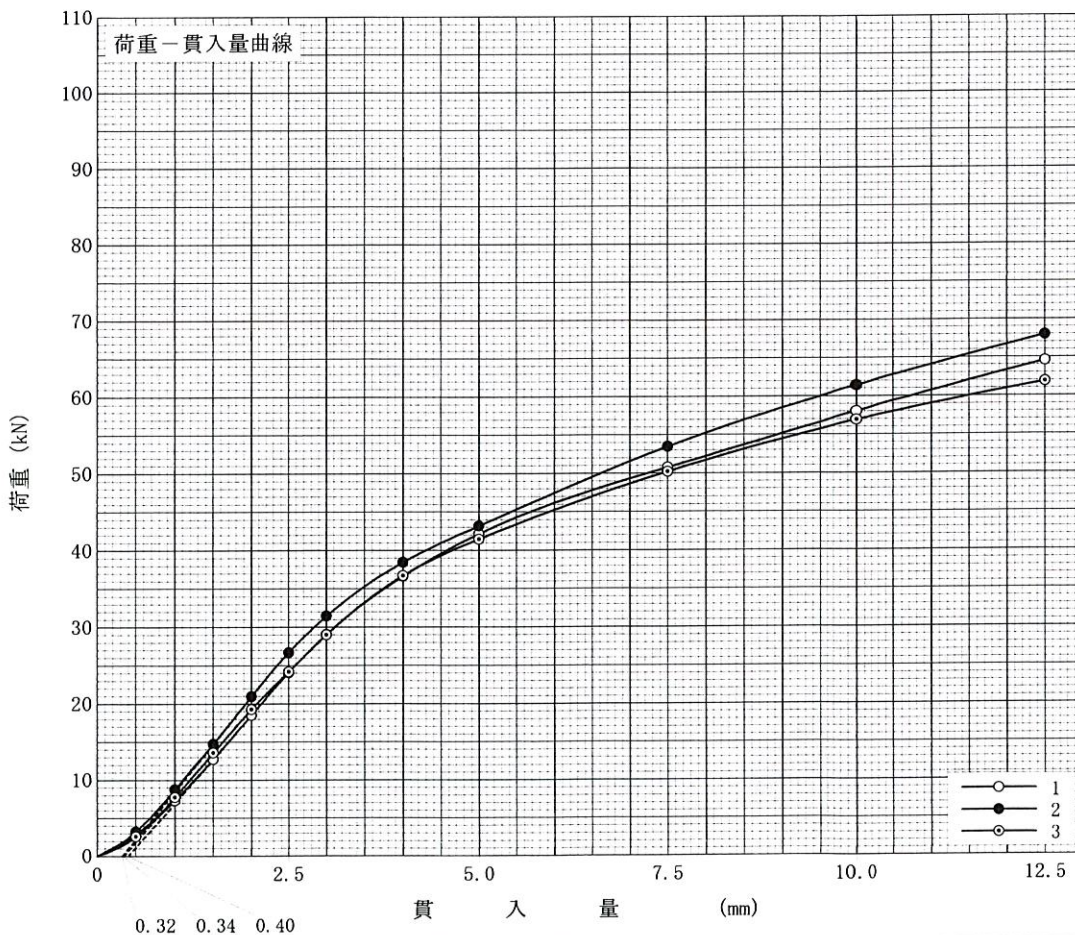
供試体 No.		1	2	3
吸水膨張試験	前 含水比 $w_1$ %	20.3	20.3	20.3
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.520	1.524	1.511
	膨張比 $r_e$ %	0.000	0.008	0.000
	後 平均含水比 $w'$ %	21.4	21.4	21.6
	乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.520	1.524	1.511
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %	20.9	20.8	20.9
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	209.8	222.6	205.1
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	220.6	223.9	215.1
	CBR %	220.6	223.9	215.1

平均 C B R %

219.9

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	28.112	43.896
供試体 No.2	29.834	44.553
供試体 No.3	27.481	42.803
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

